

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年7月1日
タイトル	みんなで植えた玉葱でカレーをつくったよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年6月20日（土）福山市多治米町の福山市立多治米保育所の児童約100名と保育所を3月に退所した小学1年生24名が、多治米保育所と隣接するほ場で収穫した野菜を使って、カレーパーティーをしました。

朝一番に夏野菜を収穫する子ども達、大きくなったきゅうりやピーマンを選び、はさみで切って収穫しました。新鮮なきゅうりは、トゲがしっかりしていて持つと手に刺さって痛いらしく「痛い、痛い」といいながら大喜びで収穫していました。



こんなに沢山採れました



どれを採ればいいのか？

立派なきゅうりを採ったよ！

教室では、カレーの具の玉ねぎ、じゃがいも、にんじんを子ども達が皮を剥いたり、切ったりします。まず、3歳児の組で玉ねぎの皮を剥きます。小さな手で一生懸命皮を剥いていました。途中で目をこすってしまい「目が痛いよ」と言っている子どももいました。



小さな手でも持ちやすいように半分に♪



真剣な表情でむきむき！

次に4歳児の組では、じゃがいもとにんじんの皮をピーラーで剥きました。



じゃがいもとにんじんは半分に切ってまな板に伏せて置き、子どもでも簡単にできるように工夫しておられました。力の加減が難しいですが、慣れるとスルスルと上手に剥けていました。

5歳児の組では、皮を剥いた玉ねぎを包丁を使って食べやすい大きさに切ります。先生に教えてもらいながら、左手は猫の手といいながら切っていました。

朝採ったばかりのきゅうりをナイロン袋に入れて麺棒で叩き「たたききゅうり」も作りました。みんなで10回数えながらたたいていました。



とっても上手に切れました！



豪快にたたいて完成！



調理室へ運びます！

カレーができるまでは自由時間で、みんな元気一杯園庭で遊びました。園庭を駆け回る子や砂場で遊ぶ子、虫を探したりとみんな思い思いに遊んでいました。

プランターの花の間から、カマキリの赤ちゃんを発見！とても小さくて、どこかに逃げてしまいそう！虫かごや昆虫図鑑を持ってきて、何を食べるのかな？虫かごの隙間から出ちゃうかも！とみんなで大喜びでした。



そろそろカレーができる頃に新1年生がやってきて、お遊戯室で5歳児と1年生が一緒になりカレーパーティが始まりました。カレーをいただく前に1年生から通っている小学校と一番好きな授業を一人ずつ発表しました。さすが1年生、しっかりと発表していました。好きな授業も国語、算数、生活、図工、体育と様々で、来年は自分達も1年生になる5歳児たちも興味津々で聞いていました。

5歳児からは、歌のプレゼントがありました。歌詞にあわせて手話をしながら大きな声で元気一杯歌いました。1年前に同じ歌を歌ったことのある1年生も途中から一緒に歌いました。

所長先生から「1年生がまだ保育所にいる頃、みんなで植えた玉ねぎ1,000本が立派に成長して、今日みんなでカレーを作って食べることになりました。」とお話されました。



元気いっぱい発表しました！



手話を交えた歌のプレゼント！

カードの色でテーブルが決まり、5歳児と1年生と一緒に食事をして交流を深めます。子ども達と一緒に大きな声で「いただきます」をしました。私も一緒にいただきました。

久しぶりに保育所に来た1年生は「こんなに小さな椅子だったんだ！」と3カ月しかたっていないのに懐かしい様子で、学校が違うお友達とも学校での様子を沢山話していました。5歳児の子ども達も、お兄ちゃんお姉ちゃんとお話するのが楽しらしく、ずっと笑顔の子もいました

野菜たっぷりのカレー

おいしかったです！



多治米保育所では、1年を通じて野菜を栽培しておられます。春野菜、夏野菜、冬野菜と子ども達が、季節の野菜の旬が分かり、野菜の本来のおいしさを認識できるのではないかと思います。この日もきゅうりが嫌いな子が自分で叩いたきゅうりを食べていて、先生が「やっぱり、自分で収穫して調理すると食べれるんじゃないか」としみじみと言っておられました。これからも、野菜の収穫など取材したいと思います。